



畦畔侵入雑草に注意！対策はまだ間に合う！

畦畔侵入雑草とは？

近年、水田の畦畔から水田内に侵入する雑草が問題になっています。これらの雑草は、はじめは畦畔に近い場所で生息していますが、そのままにしておくと次第に水田の中へと広がり、水稻の生育に悪影響を与えたり、収穫作業の妨げになったりします。

津管内でよくみられる畦畔侵入雑草

キシュウスズメノヒエ（イネ科） イボクサ（ツユクサ科） アシカキ（イネ科）



成植物



ほふく茎



似た見た目をしているものもありますが、有効成分が違うので草種の判別が重要です！

侵入前に

畦畔に茎葉処理雑草剤を散布！

抑える！

混用

枯らす！



ハチドリダイロン



ハチドリダイロン

水田内での処理には

キシュウスズメノヒエ再生茎3～6葉期まで効果あり！
(展着剤が必要です)

クリンチャー™ EW

水稲用除草剤



ノビエ	6葉期
アゼガヤ	60cm
キシュウスズメノヒエ	再生茎 3～6葉

浅水管理で初期成育確保

活着後は、水深2cm～3cmの浅水で管理し、分けつを促進しましょう！
日中の水温を高め、昼夜の水温差を大きくすると分けつ発生が促進されます。
そのため、日中に新しい水を入れると水温や地温が低下してしまうので昼間は止水し、朝夕に重点的に入水します。



ミーユ インフォメーション



中後期除草剤キャンペーンを実施中です！

お得な価格で雑草対策！詳しくは最寄りの営農センターまで！

